

印について (2026/04/01)

更新情報

2026/04/01 新規作成しました。

1. 愛情の印

両手で三角形を作ります。

出る印の感覚が男性を愛している女性の愛情を表しています。出る印の数が愛している年数相当です。誰が何年愛しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。既定で出るのは、愛の契約をしている女性、恋の契約をしている女性の内、一番発情している女性になります。どんな女性がいるか調べたいときは、調べたい女性のフルネームを口で唱えて印を組むのがよいと思われます。また、我が好意を抱きし者である〇〇と言う者を口で唱えて印を組むと好意を抱いている女性か調べられます。(同姓同名の違う女性ではないと言えます。)

2. 深い愛情の印

両手を合わせて拝みます。

出る印の感覚が男性を愛している女性の深い愛情を表しています。望んでいる子供の数相当を表しています。誰が何人子供を欲しがっているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。既定で出るのは、愛の契約をしている女性、恋の契約をしている女性の内、一番発情している女性になります。どんな女性がいるか調べたいときは、調べたい女性のフルネームを口で唱えて印を組むのがよいと思われます。また、我が好意を抱きし者である〇〇と言う者を口で唱えて印を組むと好意を抱いている女性か調べられます。(同姓同名の違う女性ではないと言えます。)

3. 愛の契約を持つ者の印

左手を垂直にして、右手を水平にして、左手の肘と右手の甲を引っ付ける。

出る印の感覚が男性に対して愛の契約を持つ女性の数を表すと聞いています。何人と愛の契約を持つか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にすることになります。愛の契約は、女性が結ぶことができます。愛の契約は、解除できません。女性が、愛の契約に反して、他の男性と性交渉を持つと、死に至ります。新たな肉体を下賜されることになります。他の男性と性交渉を持つとは、胸などの極部を直に触られることになると聞いています。愛の契約は、女性の自慰後、愛液を女性が口で舐めると成立します。誰と契約を結ぶと文言で唱える必要はないと聞いています。誰を思って、自慰したか自動判定されます。愛液量が足りない

場合、愛の契約はできないと聞いています。

4. 恋の契約を持つ者の印

右手を垂直にして、左手を水平にして、右手の肘と左手の甲を引っ付ける。

出る印の感覚が男性に対して恋の契約を持つ女性の数を表すと聞いています。何人と恋の契約を持つか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。恋の契約は、女性が結ぶことができます。恋の契約は、解除できます。女性が、恋の契約に反して、他の男性と性交渉を持つと、死に至ります。新たな肉体を下賜されることになります。他の男性と性交渉を持つとは、胸などの極部を直に触られることになります。また、恋の契約の有効期限は、生理までになります。恋の契約は、女性の自慰後、愛液を女性が左胸の乳首につけると成立します。恋の契約の解除は、女性の自慰後、愛液を女性の右胸の乳首につけると成立します。誰と契約を結ぶと文言で唱える必要はないと聞いています。誰を思って、自慰したか自動判定されます。愛液量が足りない場合、恋の契約はできません。

5. 愛する者の印

右手と左手を胸の前で、エールの様に交差させて、左手を上、右手を下にする。

出る印の感覚が男性を愛する女性の数を表していると聞いています。男性を何人の女性が愛しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。女性の場合、愛の契約若しくは恋の契約をしている男性を愛する女性の人数を表すと聞いています。また、何人の女性が男性を愛しているか啓示されると聞いています。

6. 恋する者の印

右手と左手を胸の前で、エールの様に交差させて、右手を上、左手を下にする。

出る印の感覚が男性に恋する女性の数を表していると聞いています。男性に何人の女性が恋しているか啓示されます。啓示とは、感じるままに口にするようになります。女性の場合、愛の契約若しくは恋の契約をしている男性に恋する女性の人数を表すと聞いています。また、何人の女性が男性に恋しているか啓示されると聞いています。

7. 備考

- 愛の契約は、一度契約すると解除できないと聞いています。女性が体調不良などで愛液量が愛に届かない場合でも、愛の契約は、解除されないと聞いています。
- 愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性と女性同士で、神聖の儀式と言う疑似性交が出来ます。神聖の儀式には、男性からの神聖の儀式と女性からの神聖の儀式があります。男性からの神聖の儀式は、男性が自分の乳首を触ると愛情の印などで名前が啓示される女性と開始されます。女性からの神聖の儀式は、愛情の印などで自分の名前が啓示される状態で、右手若しくは左手で、愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性の疑似男根を

握ると開始されます。

- 男性からの神聖の儀式は、男性が自分の乳首を触ると開始されます。女性の喘ぎ声が、啓示で、感じるままに口に出来ます。自分の乳首を触ると、女性の乳首を触った相当になり、愛撫相当になります。自分の男根を握ると、女性の陰部に挿入相当になります。自分の男根をしごと、疑似性交相当になります。尚、男性の声は、女性に、啓示されない為、女性は、感じるままに口にできません。
- 女性からの神聖の儀式は、女性が、右手若しくは左手で、愛の契約若しくは恋の契約を持つ男性の疑似男根を握ると開始されます。握った男性の疑似男根を女性の陰部に入れる仕草をすると、女性の陰部に挿入相当になります。男性の疑似男根を握った右手若しくは左手を動かすことにより、疑似性交相当となります。